

毎月１日発行
発行所　むらさき学園
発行者　橋本周現
住　所　〒617-0814
長岡京市今里 5－12－9
TEL（075）953 － 0505
・ホームページＵＲＬ
http:／／www.sepia.dti.ne.jp／~yoh-murasaki／
・Eメールアドレス
yoh-murasaki@jasper.dti.ne.jp

―三学期の保育方針―

園長　家田　美里

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。子ども達は本日より最も充実した三学期が始まります。それぞれが二学期に大きく成長しました。担任から離れられず、不安からか些細な事でも涙がでていた三歳児。今では二、三人のグループができ、クラスメイトの名前が家で聞けるようになってきた人も居るのではないでしょうか。園では保育室で遊ぶ事が減り園庭で遊ぶようになりました。四歳児はうんどうかいに全員で参加し、ドキドキする気持ちを乗り越え無事に終わる事ができました。そしてそれぞれに自信がつき、元しろはとのくみ、元しろうさぎのくみという垣根がなくなり「もものくみ」になってきました。五歳児は1クラスで進級し、つき合いも三年目に入り、一学期は自分の「遊びたい」という気持ちの方が強く、クラスメイトへの感心はまだまだ浅いものでした。何度もクラスで話す機会があり、回数を重ねるうちに、他のクラスメイトができるまで待っていたり、友だちの意見を聞く事ができたり…と驚く程に変わりました。今では大人顔負けで全員が納得のいく話し合いを子ども達主体で行っています。そういえば以前、卒園児の保護者が小学校のママ友に「むらさきってどんなん？行ったらどうなるの？」と聞かれたそうです。「いろいろ話すの面倒くさかったし『うちの子をみて！』って言っておいた！」と言われた事を思い出しました。今のそらのくみもそうです。小田先生は「うちのクラスの子は大丈夫です」と自信を持って言います。信頼関係が築けたのでしょう。三学期はこの一年の集大成です。担任との信頼関係ができあがりクラスメイトとは大いに気持ちをぶつけ合ってほしいです。ぶつけ合い方も各学年で全く違います。「○ちゃんやめて」「もうあそばない」と言われてしまったり、五歳児になると本気で言い合います。家に帰って、今日こんなことを言われたとか部屋に入っちゃダメって言われた、たたかれた…など話を聞く日が増えるかも…。子どもの表現力では悲しい気持ちを伝えるだけで精一杯です。何故そんな事が起きたのか、相手がなぜその様な事をしたのかまでは分かりません。子どもの話のみを聞いていたら「うちの子は幼稚園でイジメられているのでは？」と心配されるかもしれません。私達はイジメによりとても悲しい事が起こっている現実を報道等でしっているので恐ろしいです。しかし、幼児は誰かを何とかしてやろうという気持ちは全く持っていません。さっきまでモメていたのにもう一緒に遊んでいて大人は驚きます。逆に子ども同士のケンカに大人が入って良い事なんて一つもありません。お互い思い切り気持ちをぶつけ合ったからこそスッキリし次に切り替えます。大人が解決してしまったらその子が自分で考え乗り越えるチャンスを奪ってしまいます。繰り返しお伝えしていますが、辛かった気持ちを共有しギュッと抱きしめてもらえればパワーチャージ完了です。自分でどうすればいいか考え、試してみる。上手くいかなければもう一度考え、又チャレンジ。幼児期だからこそ何度でもチャレンジができるので、どんどん経験してほしいです。三学期はそんな経験がたくさんできます。とても短いですが、毎日が目まぐるしく過ぎ、あっと言う間に終わってしまうかもしれません。むらさき子には目一杯楽しんで学んでほしいです。そしてほっこりタイムが必要な時には二学期にみんなで仕込んだカリンジュースを飲もうね。

	月のねらい	解説
一月	**一切無碍**（いっさいむげ） もろともにさわりもなき仲間作り	寒いとき、つらいとき、悲しい時でもくじけず、みんなと共に発見のよろこびや感動をわかちあい、共に育って行こう。
二月	**知恵如海**（ちえにょかい） 真の知恵が海のように限りなく	正しい見解・正しい思い・正しい言葉・正しい行為・正しい生活・正しい努力・正しい気づかいなど、真理を見きわめる知恵を限りなくあふれさそう。
三月	**発無上意**（ほつむじょうい） 更に上もなき目標をたてて進む	目標に向かおうとする強い心で、そのたてる目標も「仏」をしたい、「法」にあこがれる人間完成に向かう努力をしよう。